

第2号
児童数 311名
(男182名女129)



のぶっ子

Tel :0299-66-2076

Fax:0299-66-4692

URL:https://www.itako-school.jp/nobukata-el/

〒311-2442
潮来市小泉2090

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば: あいあい(I, I)大作戦 スローガン: やさしく かしく たくましく



6年生が、国語・算数・理科3教科の全国学力学習状況調査を行いました。今年度から質問紙は、オンラインになりました。

学校では、6月いっぱいまでの間に、身長・体重・視力・聴力・内科・歯科等、様々な検査を行うことになっています。検査結果については、ご家庭に報告いたしますので、異常が見られる場合は、専門医を受診して頂きたいと思ひます。



本校では健康や体力増進の観点から外遊びを推奨しています。業間休みや昼休みには、外で元気に遊ぶ「のぶっ子」の姿が多く見られます。時には職員も参加して、サッカーや鬼ごっこ、ドッジボールなどを楽しんでいます。

火災想定避難訓練を行いました。「おかしも」のうち、命を守るために最も大切なのは、「もどらない」の「も」というお話をしました。



交通安全教室を行いました。低学年は、「けんちゃん」から、交通安全のお約束を教わりました。「道路に出るときは、きちんとトマト?」けんちゃんのボケに大爆笑でした。中・高学年は自転車の安全な乗り方について教わりました。「ぶたはしゃべる」覚えてるかな? 自転車に乗ってもよい範囲が広がりますので、十分気を付けて乗ってほしいと思ひます。

あごを伸ばしますか?

それとも、あごひも付け替えますか?

担任をしていた頃、安全帽のあごひもが伸びてしまっている児童に、冗談まじりでこんなふうに話しかけたことがあります。安全帽に関しては、今でも印象に残っている経験があります。初めて勤務した小学校でのことです。風の強い日の下校指導の際、ベテランの先生が「今日は風が強いので、帽子はランドセルにしまいましょう。」と指導されたのです。そのとき私は、「風が強い日こそ、何か物が飛んできたときのために、帽子をかぶった方が安全なのでは?」と疑問に思いましたが、経験のある先生に意見する勇気もなく、黙って従ってしまいました。

ここで、安全帽の役割について改めて考えてみたいと思ひます。主に、次の三つがあると思ひます。
1目立つ色であること: 黄色は特に目立つ色であり、ドライバーからの視認性が高まります。子供たちの安全に大きく貢献します。
2けがの予防: ヘルメットほどの効果はありませんが、転倒や飛来物から、頭をある程度守ってくれます。
3スズメバチ対策: スズメバチは黒っぽい色を攻撃する習性があるため、黄色い帽子をかぶっていると攻撃されにくいと言われています。
 このように、安全帽にはさまざまなメリットがありますが、問題点もあります。それは、あごひもが緩んでしまうことによるリスクです。たとえば、風で帽子が飛ばされたとき、とっさに子供が道路に飛び出してしまうかもしれません。これは非常に危険です。だからこそ、ベテランの先生は「帽子をランドセルにしまいましょう」と指導されたのだと思ひます。あごひもがしっかりしてさえいれば帽子をかぶった方が安全。しかし、あごひも(特にゴム製)は伸びやすく、交換のたびに保護者の手を煩わせてしまう…。
 そこで、私が考えたのは「後付けのあごひもを活用する」という方法です。通販サイトで「帽子 あごひも」などと検索すれば、数百円で購入できます。最初は少し手間がかかりますが、長持ちしますし、デザインもおしゃれなものがあります。ご家庭でも試してみる価値はあるのではないのでしょうか。

